

品名	Switch-M24DCPWR 3月年先出しセンドバック保守バンドル商品	商品仕様書	401-23249DB3-SP03
品番	PN23249DB3		全12 No.1

### 1. バンドル商品について

本製品には、3年間の先出しセンドバック保守が同梱されています。  
同梱されているサービスチケットに記載の約款に同意頂き、必要事項を記載し、  
当社にメール、FAX等で送って頂くことにより当社で登録を行います。  
登録完了後、先出しセンドバック保守が受けられます。  
登録完了の通知はサービスチケットに記載いただいた保守連絡窓口の方にメールで連絡いたします。  
※当社での登録完了後、サービスが開始されます。

### 2. 本製品の仕様について

本製品の機能等の仕様につきましては、  
PN23249Dの商品仕様書(仕様書番号:401-23249D-SP03)と同様です。

### 3. 付属品

- (1) PN23249Dに付属している付属品(2項の商品仕様書参照) 1式。
- (2) サービスチケット/約款 1枚
- (3) MNOシリーズスイッチサービスチケット登録までの流れ/本サービスご利用にあたって 1枚

作成日	2012年 1月 5日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 4月 22日	

品名	Switch-M24DCPWR 3月年先出しセントバック保守バンドル商品	商品仕様書	401-23249DB3-SP03
品番	PN23249DB3		全12 No.2

### 1. 定格・環境条件

1-1. 定格入力電圧	DC-53V～-43V(DC43～53V)、 8.0A
1-2. 消費電力	定常時最大 224W(非給電時 24W)、最小 17W
1-3. 動作環境	動作温度範囲 0～40℃ 動作湿度範囲 20～80%RH(結露なきこと)
1-4. 保管環境	保管温度範囲 -20～70℃ 保管湿度範囲 10～90%RH(結露なきこと)
1-5. 適合規制	電磁放射 VCCI クラスA
1-6. 耐性	静電気放電(ESD) :IEC61000-4-2 (10kV) 放射電磁妨害 :IEC61000-4-3 Level2 電氣的ファストランジェントバースト :IEC61000-4-4 Level3 電氣的サージ :IEC61000-4-5 Level3 (AC line) 耐伝導ノイズ性 :IEC61000-4-6 Level2 電源周波数イミュニティ :IEC61000-4-8 Level4 瞬停/電圧変動 :IEC61000-4-11

### 2. 形状

2-1. 形状及び材料・色彩	大きさ :H44×W440×D256(mm)(突起部は除く) ケース材料 :SECC 色彩 :本体 グリーン01、 銘板ラベル グリーン02
2-2. 質量(重量)	3,600g

### 3. ハードウェア仕様

3-1. インターフェース	<p>ツイストペアポート:RJ45コネクタ 24ポート (ポート1～24) (※1)</p> <p>伝送方式 :IEEE802.3 10BASE-T IEEE802.3u 100BASE-TX</p> <p>伝送速度 :10/100Mbps 全/半二重</p> <p>適合ケーブル :ツイスト・ペア・ケーブル (EIA/TIA568カテゴリ-5相当以上)</p> <p>最大伝送距離 :100m</p> <p>オートネゴシエーション機能 :通信速度、全/半二重を自動認識 設定により10Mbps、100Mbpsおよび全二重、半二重を固定可能</p> <p>各ポートに最大15.4Wの給電が可能</p> <p>ツイストペアポート:RJ45コネクタ 2ポート (ポート25～26) (※1)</p> <p>伝送方式 :IEEE802.3 10BASE-T IEEE802.3u 100BASE-TX IEEE802.3ab 1000BASE-T</p> <p>伝送速度 :10/100/1000Mbps 全/半二重</p> <p>適合ケーブル :ツイスト・ペア・ケーブル (EIA/TIA568カテゴリ-5e相当以上)</p> <p>最大伝送距離 :100m</p> <p>オートネゴシエーション機能 :通信速度、全/半二重を自動認識 設定により10Mbps、100Mbpsおよび全二重、半二重を固定可能</p> <p>※1 MNOシリーズ 省電力モード搭載により、ポート接続を自動検知し、電力消費を必要量に抑制。</p> <p>SFP拡張ポート:2ポート (ポート25～26)</p> <p>※ポート25～26は、1000BASE-T対応ツイストペアポートとの排他利用オプション :1000BASE-SX SFP Module (PN54021K) 1000BASE-LX SFP Module (PN54023K)</p>
---------------	---

作成日	2012年 1月 5日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 4月 22日	

品名	Switch-M24DCPWR 3月年先出しセントバック保守バンドル商品	商品仕様書	401-23249DB3-SP03
品番	PN23249DB3		全12 No.3

### 3. ハードウェア仕様

3-1. インターフェース	<p>スイッチング方式 :ストアアンドフォワード</p> <p>スイッチング容量 :14.8Gbps</p> <p>パケット転送能力 :ノンブロッキング 1,488,000pps/ポート(1000Mbps) 148,800pps/ポート(100Mbps) 14,880pps/ポート(10Mbps)</p> <p>MACアドレステーブル :16Kエントリ/ユニット ポート単位での自動学習の有効/無効が可能、 固定登録が可能</p> <p>バッファ :1Mバイト</p> <p>フロー制御 :半二重 バックプレッシャー 全二重 IEEE802.3x</p> <p>エージング :10~1000000秒(デフォルト値は300秒)</p> <p>ジャンボフレーム対応 :9KB</p> <p>透過可能フレーム :EAP、BPDU</p>
3-3. ターミナル エミュレータ接続	<p>コンソール・ポート:RJ45コネクタ 1ポート</p> <p>通信方式 :RS-232C (ITU-TS V.24)</p> <p>エミュレーションモード :VT100</p> <p>通信条件 :9600bps、8bit、ノンパリティ、ストップビット 1</p>
3-4. LED表示	<p>(1)PWR(電源)LED 緑点灯:電源ON</p> <p>(2)STATUS(自己診断)LED 緑点灯:システム正常稼動 橙点灯:システム起動中 橙点滅:システム障害</p> <p>(3)ポートLED</p> <p>PoE(ポート1~24) 緑点灯:電源供給 橙点滅:Overload時 消灯:電源未供給、または、端末未接続</p> <p>LINK/ACT.(ポート1~24) 緑点灯:100Mbpsでリンクが確立 橙点灯:10Mbpsでリンクが確立 緑点滅:100Mbpsでパケット送受信 橙点滅:10Mbpsでパケット送受信 消灯:端末未接続</p> <p>GIGA(ポート25~26) 緑点灯:1Gbpsでリンクが確立 消灯:100Mbpsあるいは10Mbpsでリンクが確立、または、端末未接続</p> <p>100(ポート25~26) 緑点灯:100Mbpsでリンクが確立 消灯:1Gbpsあるいは10Mbpsでリンクが確立、または、端末未接続</p> <p>LINK/ACT.(ポート25~26) 緑点灯:リンクが確立 緑点滅:パケット送受信 消灯:端末未接続</p>
3-5. カスケード接続	<p>ポート1~26がAuto MDI/MDI-Xに対応(固定設定可能) 通信条件を固定に設定したポートは、MDI-Xになります。 工場出荷時は、ポート1~24はMDI-Xになります。</p>

作成日	2012年 1月 5日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 4月 22日	

品名	Switch-M24DCPWR 3月年先出しセンドバック保守バンドル商品	商品仕様書	401-23249DB3-SP03
品番	PN23249DB3		全12 No.4

#### 4. ソフトウェア仕様

4-1. 設定	以下の方法によって管理用パラメータの設定が可能 (1) コンソール・ポートに接続された非同期端末からの設定 (2) TELNETおよびSSHにより接続した遠隔端末からの設定 (3) 日本語Webによる遠隔端末からの設定
4-2. スイッチの管理	以下の方法によってスイッチの管理が可能 (1) コンソール・ポートに接続された非同期端末からの管理 (2) SSH/TELNETとTCP/IPネットワーク接続を使用した遠隔端末からの管理 (3) SNMPマネージャによる管理 (4) 日本語Webによる遠隔端末からの管理 以下の機能によってスイッチ動作状況の確認が可能 (1) ファンセンサ機能 (2) 内部温度センサ機能 (3) CPU使用率・メモリの使用量表示機能
4-3. 再起動	ソフトウェアから以下の3つのモードでリセット可能 (1) ウォームスタート (2) 工場出荷時に戻すリセット (3) IPアドレス以外を工場出荷時に戻すリセット いずれもリポートタイマー機能によりタイマー制御可能
4-4. エージェント	管理用プロトコル :SNMP v1/v2c (RFC 1157, RFC 1901) TELNET (RFC 854) HTTP (RFC 2616) SSH v2 (RFC 4251, RFC 4252, RFC 4253, RFC 4254, RFC 4716) データ転送用プロトコル :TFTP (RFC783)
4-5. サポートMIB	RFC1213-MIB (MIB II) (RFC 1213) BRIDGE- MIB (RFC 1493) SNMPv2-MIB (RFC 1907) RMON-MIB (RFC 2819) グループ1,2,3,9のみ P-BRIDGE- MIB (RFC 2674) Q-BRIDGE- MIB (RFC 2674) IF-MIB (RFC 2233) ifTestTable を除く RADIUS-AUTH-CLIENT-MIB (RFC 2618) POWER-ETHERNET-MIB (RFC 3621) IP-FORWARD-MIB (RFC 2096) IpCidrRouteTableのみ IEEE8021-PAE-MIB (※1) IEEE8023-LAG-MIB RSTP-MIB  ※1 次の項目を除く dot1xSuppConfigTable, dot1xSuppStatusTable
4-6. ログ	最大保持数:256 Syslog転送機能
4-7. その他	Syslog Client (Syslogサーバへのシステムログ転送) TFTP Client (ソフトウェアアップグレード、設定情報の保存・読込) ログインRADIUS (RADIUSサーバによるログイン認証機能)

作成日	2012年 1月 5日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 4月 22日	

品名	Switch-M24DCPWR 3月年先出しセントバック保守バンドル商品	商品仕様書	401-23249DB3-SP03
品番	PN23249DB3		全12 No.5

### 5. レイヤ2スイッチ機能

5-1. スパニングツリー	IEEE802.1D スパニングツリープロトコル、ラピッドスパニングツリープロトコル IEEE802.1s マルチプルスパニングツリープロトコル BPDUガード機能(スパニングツリー無効時はBPDU透過)
5-2. VLAN	IEEE802.1Q タグVLANプロトコル ポートベースVLAN VLAN登録数 256個(デフォルトも含む) インターネットマシジョン機能
5-3. トランキング	IEEE802.ad リンクアグリゲーション機能(STATIC/LACP) 最大13グループ作成可能(1グループ最大8ポート)
5-4. ポートモニタリング	対象となるポートのトラフィックを指定したポートにコピーして送信可能 (複数の対象ポート指定可能) (送信方向のミラーパケットには受信したVLAN IDのVLANタグを付加して出力)
5-5. マルチキャスト	IGMP snooping (IGMP v1/v2)機能 IGMP Querier機能 マルチキャストフィルタリング機能
5-6. QoS	IEEE802.1p 8段階の優先制御 スケジューリング方式: Priority Queuing (PQ:絶対優先スケジューリング)(デフォルト設定) Weighted Round Robin (WRR:重み付きラウンドロビンスケジューリング)
5-7. 認証機能	IEEE802.1Xポートベース認証機能 IEEE802.1Xを用いたMACベース個別認証機能 IEEE802.1Xを用いたダイナミックVLAN機能 IEEE802.1Xを用いたゲストVLAN機能 登録MACアドレス強制認証機能 (EAP-MD5/TLS/PEAP認証方式) EAPフレーム透過機能(ポート単位でEAP透過の有効/無効が可能)
5-8. PoE給電機能	IEEE802.3af 給電機能 ポート1~24に最大合計175W給電可能(ポートへの最大給電能力15.4W) 給電方式 :Alternative B(空き線 4, 5, 7, 8 利用)
5-9. アクセスコントロール	以下のパラメータでアクセス制御が可能 (1)IPアドレス(Source または Destination) (2)MACアドレス(Source または Destination) (3)TCP/UDPのポート番号(Source または Destination) (4)VLAN ID (5)IEEE802.1p Priority (6)DSCP (7)Protocol (8)ICMPタイプ (9)TCP SYN Flag
5-10. リングプロトコル	リング構成で冗長化が可能(最大8グループの登録が可能)
5-11. 時間設定	SNTP設定 時刻手動設定

作成日	2012年 1月 5日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 4月 22日	

品名	Switch-M24DCPWR 3月年先出しセンドバック保守バンドル商品	商品仕様書	401-23249DB3-SP03
品番	PN23249DB3		全12 No.6

6. Web管理機能

6-1. ソフトウェア仕様		
6-1-1. 対応ブラウザ	Internet Explorer 8	
6-1-2. 必須ランタイム	Java Runtime Environment 8	
6-2. 設定機能		
6-2-1. スwitチング設定	管理情報設定 IP設定 SNMP設定 ポート設定 アクセス条件設定 ユーザ名/パスワード設定 FDB設定および参照 時刻設定 VLAN設定 リンクアグリゲーション設定 ポートモニタリング設定 MSTP(マルチプルスパンニングツリー)設定 アクセスコントロール設定 QoS設定 ストームコントロール設定	IGMP Snooping設定 IGMP Querier設定 PoE設定 ポートカウンタ設定および参照 ソフトウェアアップグレード設定 設定ファイルの保存/読込設定 再起動設定 システムログ システムログ送信設定 設定情報の保存
6-2-2. メールレポート設定	メールサーバの設定 送信先アカウント(メールアドレス)の設定(最大3アカウント) :それぞれにレポートの通知とトラップの通知を選択可能 送信元アカウント(メールアドレス)の設定 レポート間隔の設定 : 毎日、毎週、毎月のいずれか レポートの内容の設定 : ポート情報、トラフィックサマリ、システムログ 添付ファイルの選択 : 添付しない、CSV形式、テキスト形式のいずれか 添付ファイルデータの設定 データ収集間隔 : 10分毎、30分毎、1時間、3時間、6時間、1日のいずれか ログの内容 : 帯域使用率(%)、受信フレーム数、ブロードキャスト、 マルチキャスト、コリジョン回数、エラー総数  ポート選択 設定後、テストメールを送信可能	
6-2-3. 時間設定	端末からの時刻データの転送による時計合わせ(時刻設定ボタン) SNTP設定 時刻手動設定	
6-3. モニタ機能		
6-3-1. 基本情報	システム情報の設定 : 稼動時間(sysUpTime)の表示 詳細情報(sysDescr)の表示 管理者(sysContact)の表示 設置場所(sysLocation)の表示 ホスト名(sysName)の表示	
6-3-2. トラフィックログ	ポート別の過去24時間の10分ごとのトラフィックの状態を表示 表示内容は以下の通り 時刻 帯域使用率(%) 受信フレーム数 ブロードキャスト マルチキャスト コリジョン回数 エラー総数	
6-4. グラフィック機能		
6-4-1. ポートステータス	本体をグラフィック表示し、LEDの表示状態をリアルタイムで確認可能 更新間隔:20秒	

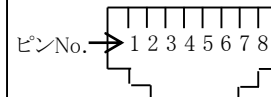
作成日	2012年 1月 5日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 4月 22日	

品名	Switch-M24DCPWR 3月年先出しセントバック保守バンドル商品	商品仕様書	401-23249DB3-SP03
品番	PN23249DB3		全12 No.7

## 7. コネクタ ピン配置

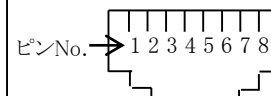
### 7-1. ポート1~24

状態	ピンNo.	1	2	3	6	4	5	7	8
MDI-X	信号	Rx+	Rx-	Tx+	Tx-	+V	+V	-V	-V
MDI	信号	Tx+	Tx-	Rx+	Rx-	+V	+V	-V	-V



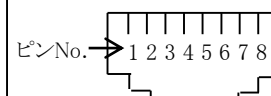
### 7-2. ポート25~26

状態	ピンNo.	1	2	3	6	4	5	7	8
MDI-X	信号	BL_DB+	BL_DB-	BL_DA+	BL_DA-	BL_DD+	BL_DD-	BL_DC+	BL_DC-
MDI	信号	BL_DA+	BL_DA-	BL_DB+	BL_DB-	BL_DC+	BL_DC-	BL_DD+	BL_DD-



### 7-3. コンソール・ポート

ピンNo.	信号	ピンNo.	信号
1	NC	5	GND
2	NC	6	RXD
3	TXD	7	NC
4	GND	8	NC



## 8. 電源用端子台(付属品)

### 電源用端子台(付属品)

※下図は電源ケーブル 取り付け面

取り付け面



### DC-48V/DC48Vの接続方法

	①	②	③
DC-48Vで使用される場合 (入力電圧範囲-53~-43V)	接地	-48V DC	0V DC
DC48Vで使用される場合 (入力電圧範囲 43~53V)	接地	0V DC	48V DC

## 9. 設置方法・付属品

9-1. 設置方法	(1) 19インチラックへの取付
9-2. 付属品	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 取扱説明書 :1冊</li> <li>(2) 施工説明書 :1冊</li> <li>(3) CD-ROM :1枚</li> <li>(4) 取付金具(19インチラックマウント用):2個</li> <li>(5) ねじ(19インチラックマウント用) :4本</li> <li>(6) ねじ(取付金具と本体接続用) :8本</li> <li>(7) ゴム足 :4個</li> <li>(8) 電源用端子台 :1個</li> <li>(9) 絶縁テープ :3枚</li> </ul> <p>※電源ケーブル、設置用ケーブルは別途ご用意ください。</p>

作成日	2012年 1月 5日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 4月 22日	

品名	Switch-M24DCPWR 3月年先出しセントバック保守バンドル商品	商品仕様書	401-23249DB3-SP03
品番	PN23249DB3		全12 No.8

10. 別売オプション

9-1. コンソールケーブル (品番:PN72001)	(1)RJ45-Dsub9ピンコンソールケーブル :1本
9-2. 1000BASE-SX SFP Module (品番:PN54021K)	光ファイバ・ポート:LCコネクタ(2芯) 伝送方式 :IEEE802.3z 1000BASE-SX 伝送速度 :1000Mbps 全二重 適合ケーブル :光ファイバケーブル 50/125 $\mu$ m マルチモードファイバ 62.5/125 $\mu$ m マルチモードファイバ 最大伝送距離 :50/125 $\mu$ m の場合550m 62.5/125 $\mu$ m の場合220m
9-3. 1000BASE-LX SFP Module (品番:PN54023K)	光ファイバ・ポート:LCコネクタ(2芯) 伝送方式 :IEEE802.3z 1000BASE-LX 伝送速度 :1000Mbps 全二重 適合ケーブル :光ファイバケーブル 10/125 $\mu$ m シングルモードファイバ 50/125 $\mu$ m マルチモードファイバ 62.5/125 $\mu$ m マルチモードファイバ 最大伝送距離 :シングルモードファイバの場合10km マルチモードファイバの場合550m

作成日	2012年 1月 5日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 4月 22日	



品名	Switch-M24DCPWR 3月年先出しセントバック保守バンドル商品	商品仕様書	401-23249DB3-SP03
品番	PN23249DB3		全12 No.9
<p>11. 安全確保のための施工および使用上の禁止事項</p> <p>下記の項目を満足されていない場合のトラブルに関しては、責任を負いかねます。 この装置のご使用に際しては、以下の点を遵守ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 電源ケーブルの接続および配線、装置の設置および交換は、教育を受けた資格を有する技術者以外は行わない 取り扱いを誤ると、火災、感電、故障、誤動作の原因になります。</li> <li>(2) この装置に付属の「Switch-M24DCPWR施工説明書」に従って施工する</li> <li>(3) 適用ケーブル以外は絶対に使用しない 誤って使用すると、発熱して小村や火災の原因になります。</li> <li>(4) はんだ付けした心線は使用しない 火災、感電の原因になります。</li> <li>(5) 通電中、電源用端子台(付属品)には触れない 感電、故障の原因になります。</li> <li>(6) ぬれた手で電源用端子台(付属品)の取り付け、取り外しをしない 感電・故障の原因になります。</li> <li>(7) 入力電圧範囲 DC-53～43V(DC43～53V)以外では使用しない 火災、故障、誤動作の原因になります。</li> <li>(8) 電源設備ブレーカをONにしたまま、電源用端子台(付属品)の取り付け、取り外しをしない 火災、感電、故障、誤動作の原因になります。</li> <li>(9) 雷が発生したときは、この装置や接続ケーブルに触れない 感電の原因になります。</li> <li>(10) この装置を分解・改造しない 火災・感電・故障の原因になります。</li> <li>(11) 電源ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりたばねたり、はさみ込んだり、重いものをのせたり、 加熱したりしない 電源ケーブルが破損し、火災、感電の原因になります。</li> <li>(12) 開口部やツイストペアポート、コンソールポート、SFP拡張スロットから内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、 落とし込んだりしない 火災、感電、故障の原因になります。</li> <li>(13) 水のある場所の近く、湿気やほこりの多い場所に設置しない 火災、感電、故障の原因になります。</li> <li>(14) 直射日光の当たる場所や温度の高い場所に設置しない 内部の温度が上がり、火災の原因になります。</li> <li>(15) ツイストペアポートに10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T以外の機器を接続しない 火災、感電、故障の原因になります。</li> <li>(16) SFP拡張スロットに、別売のSFPモジュール(PN54021/PN54021K/PN54023/PN54023K/PN54025)以外を実装しない 火災、感電、故障の原因になります。 対応するSFP拡張モジュールの最新情報は、ホームページにてご確認ください。</li> <li>(17) コンソールポートに別売のコンソールケーブルPN72001RJ45-Dsub9ピンコンソールケーブル以外を接続しない 火災、感電、故障の原因になります。</li> <li>(18) この装置を火に入れない 爆発・火災の原因になります。</li> </ol>			
作成日	2012年 1月 5日	ネットワークソリューション事業本部	
改定日	2019年 4月 22日		

品名	Switch-M24DCPWR 3月年先出しセントバック保守バンドル商品	商品仕様書	401-23249DB3-SP03
品番	PN23249DB3		全12 No.10
<p>11. 安全確保のための使用上の禁止事項</p> <p>(19) 電源用端子台(付属品)を必ず使用する</p> <p>(20) ケーブル被覆は7mm以上むかない</p> <p>(21) 心線が露出しないように接続する 絶縁テープ(付属品)を貼付せずに使用すると感電の原因になります。</p> <p>(22) 必ず設置用ケーブルを接続したあとに電源ケーブルを接続する</p> <p>(23) 誤接続していないか確認する 接続を誤ると短絡や過電流で使用不可になります。 また火災、感電、誤動作の原因になります。</p> <p>(24) 電源ケーブルを電源用端子台にゆるみなどがないう、確実に接続する 感電や誤動作の原因になります。</p> <p>(25) 電源用端子台を電源ケーブル接続端子にゆるみなどがないう、確実に接続する 感電や誤動作の原因になります。</p> <p>(26) 以下を確認した場合、すぐに電源設備ブレーカをOFFにする 必ずOFFにしてから作業を行ってください。 火災、感電、故障、誤動作の原因になります。 また、電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因になります。 ・電源LEDが点灯しない ・この装置から異臭がする ・この装置から煙が出ている ・この装置内部に異物や水が入った ・STATUS(自己診断)LEDが橙点滅している</p> <p>(27) ツイストペアポート、SFP拡張スロット、コンソールポート、電源コード掛けブロックで手などを切らないよう注意の上取り扱い</p> <p>12. 施工上の注意事項</p> <p>(1) この装置に付属の「Switch-M24DCPWR施工説明書」に従って施工してください</p> <p>(2) 電源ケーブルとLANケーブルを平行配線する場合には、お互いを10cm以上離して配線してください</p> <p>(3) 接続を誤ると短絡や過電流で使用不可能になります</p> <p>(4) ケーブル被覆は7mm以上むかないでください</p> <p>(5) 曲がった心線はまっすぐに伸ばしてから接続してください</p> <p>(6) 心線の近くを持ってまっすぐに接続してください</p> <p>(7) 接地用ケーブルはこの装置を設置する場所の接地条件に従って配線してください</p> <p>(8) 接続したケーブルを引っ張ったり、ねじったりすると心線を傷つけます</p> <p>(9) ねじは締めすぎないでください。ケーブルが切れたり、ねじ部分が故障する原因になります</p> <p>(10) 電源ケーブル、接地用ケーブルは別途ご用意ください</p> <p>(11) Cu単線(φ0.5~2.0mm)を使用してください</p> <p>(12) φ2.0mm以上のケーブルを使用する場合は、中継端子台を別途ご用意ください</p>			
作成日	2012年 1月 5日	ネットワークソリューション事業本部	
改定日	2019年 4月 22日		

品名	Switch-M24DCPWR 3月年先出しセントバック保守バンドル商品	商品仕様書	401-23249DB3-SP03
品番	PN23249DB3		全12 No.11
<p>13. 使用上の注意事項</p> <p>(1) 内部の点検・修理は販売店にご依頼ください。</p> <p>(2) この装置を設置・移動する際は、教育を受けた資格を有する技術者が行ってください。 移動させる場合は、全てのケーブルを外してください。</p> <p>(3) この装置を清掃する際は、教育を受けた資格を有する技術者が行ってください。 その際、電源設備ブレーカをOFFにしてください。</p> <p>(4) RJ45コネクタの金属端子やコネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラブラの金属端子、SFP拡張スロットの内部の金属端子に触れたり、帯電したものを近づけたりしないでください。 静電気により故障の原因になります。</p> <p>(5) コネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグをカーペットなどの帯電するものの上や近辺に放置しないでください。 静電気により故障の原因になります。</p> <p>(6) 落下など強い衝撃を与えないでください。 故障の原因になります。</p> <p>(7) コンソールポートにコンソールケーブルを接続する際は、事前にこの装置以外の金属製什器などを触って静電気を除去してください。</p> <p>(8) 以下場所での保管・使用はしないでください。 (仕様の環境条件下にて保管・使用をしてください)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 水などの液体がかかるおそれのある場所、湿気が多い場所</li> <li>- ほこりの多い場所、静電気障害のおそれのある場所(カーペットの上など)</li> <li>- 直射日光が当たる場所</li> <li>- 結露するような場所、仕様の環境条件を満たさない高温・低温の場所</li> <li>- 振動・衝撃が強い場所</li> </ul> <p>(9) 周囲の温度が0～40℃の場所でお使いください。 上記条件を満たさない場合は、火災・感電・故障・誤動作の原因となることがあり、保障致しかねますのでご注意ください。 また、この装置の通風口をふさがしないでください。 通風口をふさぐと内部に熱がこもり誤動作の原因になります。</p> <p>(10) 装置同士を積み重ねる場合は、上下の機器との間隔を20mm以上空けてお使いください。</p> <p>(11) SFP拡張スロットに別売のSFP拡張モジュール(PN54021/PN54021K/PN54023/PN54023K/PN54025)以外を実装した場合、動作保証はいたしませんのでご注意ください。 対応するSFP拡張モジュールの最新情報は、ホームページにてご確認ください。</p> <p>(12) 仕様限界をこえると誤動作の原因になりますので、ご注意ください。</p>			
作成日	2012年 1月 5日	ネットワークソリューション事業本部	
改定日	2019年 4月 22日		

品名	Switch-M24DCPWR 3月年先出しセントバック保守バンドル商品	商品仕様書	401-23249DB3-SP03
品番	PN23249DB3		全12 No.12

#### 14. 品質保証について

本商品の品質管理には最大の注力をいたしますが、

- (1) 万一、本商品の品質不良が原因となり、人命並びに財産に多大の影響が予測される場合には、本仕様書記載の特性・数値に対し余裕を持たれ、かつ二重回路等の安全対策を組み込んでいただくことを、製造物責任の観点からお勧めします。
- (2) 本商品の品質保証期間はご購入日より1年間とし、本仕様書に記載された項目とその範囲内とさせていただきます。本商品に弊社の責による瑕疵が明らかになった場合には、誠意をもって代替品の提供、または瑕疵部分の交換、修理を本商品の納入場所ですぐやかに行わせていただきます。

但し、次の場合はこの保証の対象から除かせていただきます。

- 1) 本商品の故障や瑕疵から誘発された他の損害の場合。
- 2) お買い上げ後の取扱い、保管、運搬（輸送）において、本仕様書記載以外の条件が本商品に加わった場合。
- 3) お買い上げ時までに実用化されている技術では予見することが不可能であった現象に起因する場合。
- 4) 火災・地震・洪水・落雷・紛争など弊社に責のない自然あるいは人為的な災害による場合。

取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。

お客様の取扱説明書に従わない操作に起因する損害および本商品の故障・誤動作などの要因によって通信の機会を逸したために生じた損害については、その責任は負いかねますのでご了承ください。

- (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
- (ニ) 保証書の提示がない場合
- (ホ) 保証書にお買い上げ日、お客様名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

作成日	2012年 1月 5日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 4月 22日	